

出演団体各位

下表のとおり、講師講評をお送りいたします。

第58回高知県合唱祭（2017年6月25日開催） 講師講評

高知県合唱連盟

出演順	団体名	講師A	講師B
1	高知市民合唱団	<ul style="list-style-type: none"> ・のどをよく開いた、きれいな歌い出しでした。言葉の発音が丁寧で自然、パートの声もまとまっていました。2曲目では強弱の幅もありませんでした。 ・息の吸い方が浅い時があります。フレーズの合間の深いブレスは難しいですが、胸にだけは入れないように。ロングトーン力強く伸びていました。少し下アゴに力が入ってしまいました。声が固くなってしまいますので、呼吸を流し、お腹の意識を忘れずに。 	<ul style="list-style-type: none"> ・口角をもっと上げ、全ての母音の純粋化をしてみてください。 ・母音も子音も、前頭洞から、出すイメージ。 ・原語の言葉のアクセントを大切に、何度も読んでください。今の響きより更に高い響きになると思います。
2	土佐塾中学・高等学校 音楽部	<ul style="list-style-type: none"> ・透明感のある響き♪お互いの歌を聴き合うことの大切さが伝わってきます。ソロのフレーズ感、音色も美しかったです。 ・少し線が細いけれど、一人一人の表現する心が感じられる。大きい小さいだけでなく、濃い淡い、速い進めないetc、声や息、表現の幅を広げてみてください。 ・言葉がよくわかりました。一緒に歌う仲間が増えるといいですね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・横隔膜の上下運動をもっと意識して、呼吸練習をもっとくり返し行ってください。 ・心が動いてから発声する。 ・響きを立体的に考えて、首の後側と鼻腔を同時に使う。
3	高知追手前高等学校 音楽部	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の声の魅力、心の素直さを感じます。それが音楽にプラスに、時にマイナスに作用するように思います。音程が不安定にならないような練習の工夫が必要では。フレーズののびのび感がありました。しかし、言葉の抑揚が足りないのでは？全ての音は均等に保たなければいけません、高校生にはもっと陰影のついた歌を歌ってほしい。ガンバレ、追手前！！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・感謝の気持ちが一人ひとりの顔から伝わってきました。 ・発声練習時に口を開けないで、全ての母音が鼻腔、前頭洞から発声出来るように心がけて下さい。
4	ユングコーラス	<ul style="list-style-type: none"> ・体の動きによって、色々な声が出ていました！軽やかにおしゃれに聴かせるのは難しいですが、よく練習されていると思いました。長い音、表情があっているのですが、少し押し出した感じが聞こえる時があります。声をあてる、ひびかせる位置を上げられるといいのかもしれないですね。ピアノと歌のやりとりを楽しみました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンス、ドレス、音楽、皆さんのスマイル、とても素敵でした。 ・子音はもう少し鋭く。母音は、首の後ろ側を意識しながら。鼻腔と拮抗させるイメージで。 ・モーツァルトの音楽は素晴らしいですが、皆さんは女優のようにエレガントでした。
5	高知大学教育学部 附属中学校合唱部	<ul style="list-style-type: none"> ・大人っぽいテンポですね。フレーズいっぱい思いが溢れているように。フレーズの後半、下降音型で体がしぼまないように、呼吸をコントロールしましょう。思い切って歌えている時と歌えていない時がある...そう聴こえてしまうのが残念。ダンス部としてもやっていけそうですが(?)歌の力、音楽の力を存分に味わい伝えられるって素晴らしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フレーズの中で、どの言葉が大切なのかを考えて、音楽作りしてみてください。 ・母音の響きはとどのついでありますが、空気圧が少し弱いので、2階までとんでこない感じがしました。 ・恋ダンスは表情豊かでとても楽しめました。 ・「心を動かす」、このことについてディスカッション。
6	高知小津高等学校 音楽部	<ul style="list-style-type: none"> ・パート毎の声に魅力があります！クレッシェンドで少し体がつっぱってしまうように感じます。しなやかに筋肉を使って下さい。最初から最後まで集中した演奏でした。 ・体の中のワクワク感、リズムのいきいき感、もう少しプラスしてもいいのかなと思います。明るい声がよく出ているので、言葉のさびき方、声のひびかせ方にも少しバリエーションがあるといいですね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・とても高いポジションで響いていて、言葉もクリアで、力強く感じました。 ・少し響きが狭く、硬い部分があるので前頭洞、鼻腔と首の後側を上手に使う、奥深い響きをつくっててください。
7	高知大学合唱団	<ul style="list-style-type: none"> ・サウンドが豊かになりました。それに見合った表現の洗練、リズム感の確かさが欲しい。そろえることは大切ですが、直立不動がやや不自然に感じます。 ・縦が揃っても音楽の流れがあるように。皆さんから歌うことの楽しさ、仲間を信頼する空気が伝わってきました。表現の質を高めていってください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンダクターとメンバーの気持ちが一つになって、心温まる演奏でした。 ・口から歌うのではなく、鼻腔、頭に口があると考え、発声してください。
8	コール・トワニー	<ul style="list-style-type: none"> ・なんてあたたかいひびきなんでしょう。一声でトワニー色がステージに広がりました。山本先生仕込みのイタリア語は本当にすばらしかったです。一つ一つの言葉を大切にすることが伝わってきました。つやのある声、よく伸びる声のイメージを大切に、忘れずにこれからも歌ってください。ずっと聴いていたくなるような、心地よい、優しい演奏でした。 	<p>【指揮のため、無記入】</p>
9	高知ファミリーコーラス	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭男声の歌、フレーズの歌わせ方、声の響かせ方、とても良かったです。宗教的な内容の歌詩なので、母音の形がもう少しして、立体的になるといいのかなと思いました。平べったい母音に時々なってしまう、するとカジュアルな雰囲気を感じる。声の支えなど、とても安定していると思うのですが、まだ使っていない筋肉がある、もしくは、更に深い支え、更に豊かなひびきが皆さんの中にあるのでは？そこまで聴いてみたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・原語のイントネーション、母音を意識して何度もディクッションする(Salve Regina/a-e e-i-a)。母音のつながりをもっと意識すると、よりフレーズ感が出るし、説得力のある表現になる。 ・E、Aの母音が口から出てるように聞こえるので、少し残念。
10	OMC合唱団	<ul style="list-style-type: none"> ・とても繊細な表現をされる合唱団だと思いました。美しいものを美しく、大切に歌っていました。それ故に音楽が停滞してしまったり、息と声の流れが固くなってしまったりしないように気を付けてみてください。楽譜を持っていても、全身に息が入るイメージで。 ・集え、追手前・丸の内OG！OB！今でも響きは十分豊かですが、人数が増えたらもっとフレーズがしなやかに動かさそうですね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・台や机の上に、アゴをのせて、全ての母音を出す練習をすると、響きの位置が分かります。 ・口を開ける時、上アゴだけを使うイメージで試して下さい。 ・「麦の唄」は、女声も男声も力強く、多彩なリズムの変化にも対応し、素晴らしかったです。
11	高知少年少女合唱団	<ul style="list-style-type: none"> ・広いステージに間隔をとって一人一人がしっかり立っていて立派でした！難しいリズムの変化を、落ち着いて丁寧に歌っていました。天使の高音！一音を支える→一言を支える→一文・フレーズを支えられるようになってください。 ・大きなステージ・知らないお客様を前にすると少し緊張してしまうかもしれませんが、音楽の面白さ、楽しさで体の中をいっぱいにして顔と声を輝かせましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前説、よかったよ！！ ・とてもかわいらしく、美しく、楽しく、表現できていると思います。 ・曲の中で好きな言葉を見つけて、それについてディスカッションするとハーモニーが変わるよ！！ ・曲の内容とダンスがマッチして、とても楽しい気持ちになりました。
12	合唱団むぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・風景が目には浮かび、広がっていくような演奏でした。とても丁寧に声を出しています。男声のひびき、厚みがありました。言葉のキレがありました。全体にひびかせた声の上にいったままではなく、前に出せるようにしてみてください。放物線をイメージして歌い終わりまでお腹を使います。揃いのはっぴ、とても舞台に映えましたね！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・難曲なのにそれを感じさせない歌いっぷりでした。 ・指揮者を中心に、心温かい合唱団だと思いました。 ・響き(ハーモニー)の中に風景がうかび、とても言葉を大切にしていると感じました。

出演順	団体名	講師A	講師B
13	女声合唱団チェリー	・しっとりとした美しい歌声でした。言葉と声で絵を描いていくような演奏でした。時々、声の抜け方が悪くなったり、言葉が聴き取りにくくなります。軟口蓋の使い方なのかなと思うのですが…。心に残る演奏、自分たちで表現を工夫され、そのことを楽しんでいらっしやるからだだと思います。	・川田さんの表現する音楽とピアノ、合唱団員が一つとなり、美しいハーモニー(心、気持ち)を奏でてくれました。 ・言葉に対するイメージが多彩。
14	高知丸の内高等学校音楽科	・歌い方や声、よく揃っていて大人数という感じがしませんでした。良い声がたくさん聴こえましたが、時々固すぎる声がありました。表現に見合った音量、音色を必ず選択してください。もっとこだわって心をみがき、楽器としての体を鍛え、存分に使ったら、ものすごい演奏ができると思います。技術を自分のものにして下さい。歌に心を引っ張ってもらうのではなく、自分の心で歌を引っ張って下さい！	・Acuto(高音)が素晴らしく、言葉も明確で心豊かな表現ができていますと感じました。 ・少し響きが硬いように感じましたが、もしかしたら、横隔膜の動きが滞っているかもしれない。胃の部分を柔らかくするようにすると、響きも深くなると思います。
15	すさきドリーム	・言葉のない歌を言葉のセリフだけで歌うのは、かんたんではないと思いますが、しなやかに美しく演奏していました。声のイメージをもって歌いきったと思います。さて、言葉を歌うとき“オ”のひびきが一番よかったです。言葉をできるだけささえてメロディラインに乗せて下さい。のびやかで生き生きとした音楽づくり、とても印象に残りました。リズムがもう少し安定してかつ重くならないといいですね。すてきな演奏でした。	【指揮のため、無記入】
16	いの混声合唱団	・Ave Maria以外の言葉の抑揚が、少しわかりにくかったです。フレーズが長くなったとき、各パートの音楽があいまいにならないように表現しつつして下さい。言葉への共感を歌に乗せ力強い演奏でした。情熱に満ちていてすばらしいと思いました。	・特にAve Mariaの時に、女声と男声の母音の響き方に、バラツキがあるので、母音を、響きを合わせるトレーニングをして下さい。 ・口をあまり開けない状態で、(口角を上げて)母音を鳴らす練習をしてみてください。
17	池川混声合唱団	・合唱として歌うのは難しい曲かと思いましたが、とてもよく練習されていて楽しんで聴くことができました。一人ひとりが体全体をバランスよく使っていて、自然な発声だと思います。 ・2曲目は、もう少しリズムの扱いを軽くしてもいいのかもしれませんが。言葉の発し方、シンコーションの時の声の出し方フレーズ終わりの歌い方の工夫などで変わるのでは？”好感がもてる”というは弱い言い方ですが、気持ちのいい合唱でした！	・横隔膜を早く動かす(犬や赤ちゃんの様に)トレーニングをして、空気圧で発声できるようにしてみてください。 ・お腹の支えはふん張るのではなく、人間ポンプになり下から上へ、空気をおくり出す。
18	TURKEY'S CLUB	・レガートで歌う時、言葉がもうちょっつとだけ聞きたかったです。一人一人のしっかりした声でからpまで男声合唱ならではのひびきを楽しみました。所々リズムや言葉が流れてしまうのを何とかい止めるのも経験と実力のなせる技！ ・息の合った演奏、合唱って楽しいんだと感じさせる演奏でした。	・言葉を一つ、一つ大切にしていることが素敵です。 ・練習している全ての曲を母音だけで歌うトレーニングをすると、少人数でもホールに響きわたる声になると思います。 ・高音時のイの母音は、指2本分けて発音できるように。 ・la voce sul fiato 歌スキスキビームが出て、Bravo！！
19	女声合唱団コール・グルッペ	・体幹の強さを感じました。勇気をもって堂々と演奏していました。一人一人の声がしっかり出ていました。それ故、声同士がぶつかる、少しにごる時があります。エンターテイメント力があり、聴く人を楽しませるサービス精神もたっぷり！声の芯よりひびき成分がもう少し多い方が、ハモリが更に美しくなるのでは？	・深みのある響きと、説得力のある表現があり、心が温まります。 ・フレーズの終わりの音が少し下がるところがあるので、注意して下さい。 ・演出にも驚きました。コスチュームが赤に変化すると、人数が増した様に見えて、声も華になり楽しめました。
20	高知学芸中学高等学校コーラス部	・三人の男声すばらしい！女声は伸ばす音の後半、声が細くならないように。言葉を発しようとした時、顔の前面に意識が集中しすぎると、その後の声が薄くなってしまいうので気をつけて。すがすがしさが最高の美点ですが、バランスがよくなるよう練習を続けて下さい。今日かんだサウンドを大切に、これからも頑張れ！	・男声3人の声が、大勢の女声に負けることなく響き、素敵でした。 ・声を出す前の準備をもっと素早く。 ・とにかく、どれだけのイメージがあるかで、全体の響き、表現力、説得力が変わってきます。 ・たくさんのイメージ→プレスが変わる→音色が変わる
21	土佐山田町合唱団	・第一声で物語スタート！セリフは味があり、最後まで楽しかったです。指揮に導かれ、フレーズを一つ一つ丁寧に歌っています。音程やリズムが、もう少し安定するよう、お腹の支えを意識すること、顔にある筋肉(口の中の空間を保つ、口角をひき上げるを意識してみてください)。	・山田洋次先生をお招きしたいですね。 ・土佐山田コーラスしか歌えないプログラムで感動させ頂きました。本当にいきいきと歌うことを人生として、楽しまれていると思いました。 ・声に人間のエネルギーを感じました。
22	高知市立旭中学校コーラス部	・10周年おめでとうおめでとうございます！！それぞれのパートがチームワークよくフレーズを支えています。言葉・音程、よく揃っていますが、全てを点でなく線で合わせられるといいのかなと思います。16分4連桁ではなく、スラー付き16分4連桁の固まりで。言葉の支えが少し世ウイ後だと思います。言い始める前の準備、言い終えた後まで筋肉を使ってみて下さい。	・いつも笑顔をもくひょうにすることを、ずっとずっと続けて下さい。 ・3人の男性の声が、大人っぽく、つやがあり、女性の声ととけ合い、美しいハーモニーとなっていると思います。 ・あとは、どんな気持ちで言葉を発するかが大切なので、ディスカッションをして、音色を決めて下さい。
23	高知コーラス合笑団	・フルートのオブリガート、ぜいたくでおしゃれですね。ソロは体を聞いて、見事に歌われていました。マリンバの波にのり、すてきなメロディー、美しい言葉が広がりました。ロマンティックな世界の描き方、とてもさわやかで良かったです。もう少し甘さ多めの歌も聴いてみたいです。	・イタリアのナポリに迷い込んでしまったかの様なすがすがしい風が高知に吹いていました。 ・胸を張り、横隔膜を上下に動かすトレーニングをして下さい。(胃を硬くしない)→自然に奥深い音色になると思います。 ・soloもbravo！！
24	Dios Anthos Choir	・声を鳴らし、かつ飛ばすのは難しくかつ楽しい！ますます声にみがかきかけ、聴く人を夢中にさせて下さい。コーラス部分、リズムも複雑で難しいのだと思いますが、もう少し整理されるといいのかなと思います。	・いつも、楽しい素敵な演出ありがとうございます。 ・Acuto(高音)の時に、体の中に空気を通すイメージで発声してみてください。 ・少し声が硬い感じがするので、体の中に空気を通すイメージで発声してみてください。
25	土佐中学・高等学校音楽部	・澄んだ歌声がとてもとても心地よい。空気に声が溶けてしまうのが早いように思います。芯の部分が加わると歌いにくさですが、支えをよくし、体を使ったらきつと可能。表現の幅が広がると思います。洗練された演奏でした。	・私も、RADは大好きで、独特な言葉マジックがありますよね？！メンバー一人一人がもっと気持ちをさらけ出すような練習を(方法はわからないけど)すると、もっと違ったパワーが出ると思います。 ・まだ、遠慮してるかな？！ ・RADとミステルの言葉を学び、人生も、音楽も、音色も学んでください。
26	マリンコールやす	・フレーズの歌い方が絶妙で、きれいでした。軽やかに声が出てくる、軽やかに歌が出てくる印象です。欲しいところでは輝きのあるフォルテもあり、バランスがよかったです。 ・”ア”の母音が時々平たくかんじられました。初恋は初恋ですから、生き生きしていいのだと思いますが、もう少し幻想的(テンポやフレーズの揺れ方)な雰囲気はいかがでしょうか。	・少し声が硬くなるので、後頭部を広げながら、発声して下さい。 ・歌うことを楽しみ、メンバーのことを思いやる気持ちが優しいハーモニーとなって、奏でられています。 ・前を考えた後ろも考える、上を考えた下を考える、拮抗。

出演順	団体名	講師A	講師B
27	土佐女子中学高等学校コーラス部	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人が持っているいい声のイメージ、音感覚がそろっていません。フレーズの入り方、スムーズでないように感じます。出る前から揃っているように。長い音など一人一人が支えている！という意識で。個人の声が残ったように感じる時があります。しなやかなフレーズの扱いに更にみがきをかけて下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 素晴らしいハーモニーをしていますが、Acuto(高音)が少し硬くなるので、横隔膜を使い、息の<u>圧力</u>だけで発声するトレーニングをして下さい。 全ての母音の一つ一つを丁寧に、同じ響きになるようトレーニングして下さい。
28	安芸市民合唱団	<ul style="list-style-type: none"> 言葉に誠実に、声と心と体で歌っていました。ブレスをもう少し深く(すばやく)吸ってみては。伸ばす音は伸ばしている間ずっと声質、音程を保って、スピードが落ちないように。長いフレーズを全て一人で支えるのは難しいですが、カンニングブレスを上手にとりながらパート毎の線を粘り強く支えて下さい。一杯の水、尊いですね。 	<ul style="list-style-type: none"> 平山さんの心のこもった指揮に、メンバーの力強い気持ちが加わり、心のハーモニーをとどけてくれました。 下アゴをあまり使わず、上アゴだけで発声する練習をしてみてください。
29	混声合唱団Pange	<ul style="list-style-type: none"> 音の激しいうねりの中に言葉がうもれないようにするのは、ものすごく大変なことだと思いますが、ぜひ実現して下さい。このドラマチックな曲を歌い上げ、組曲として発表できる合唱団は多くないと思います。15周年楽しみにしています。声は鳴らすものでもあるし、息によって鳴らされるものでもありますね。色々な表現を駆使しこの曲の詩の世界観を、皆さんの全てで描き切ってください！ 	<ul style="list-style-type: none"> 繊細な音から、ダイナミックな表現まで肉厚なハーモニーを奏でられていると感じました。その響きの中に、言葉のクリアーさがあればさらに良いと感じた。 曲中、どのパートがメロディーラインになるかをもう一度確認して下さい。
30	高知センター合唱団	<ul style="list-style-type: none"> 地に響き空気を振動させる歌声でした。お腹から出ている声だと感じました。カンタービレになった時、リズムが不安定にならない方が、より説得力が出るのかなと思います。 佐由紀さんの指揮はあたたかく、陽子さんの指揮はりりしく格好よかったです。記念表彰おめでとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> 一つ一つの音を大切に、本当に楽しんで奏でていただよう感じました。 口をあまり開けないで全ての母音を出せるようにトレーニングして下さい。鼻腔・前頭洞に口が<u>ある</u>ように感じて。